

長谷川 栄男 氏

昭和31年神戸市生まれ。昭和53年甲南大学理学部卒、同年株式会社昭和組に入社、取締役就任。昭和60年代表取締役就任。令和4年より現職。須磨交通安全協会会長、兵庫県クレーン事業協同組合理事長、神戸市クレーンリース業協会会長、甲南高等学校同窓会会長。令和3年国税庁長官納税表彰。



「継続は力なり」をモットーに どんな時も歩み続ける

須磨納税協会 会長 株式会社昭和組 代表取締役会長 は せ が わ ひ で お 長谷川 栄男 氏

オーディオでリフレッシュする

——会長の趣味を教えてください。

オーディオです。もともと機械が好きということもあり、マニアックな機器を自宅のオーディオルームに揃えています。音楽はクラシックからロック、演歌まで何でも聴きますが、良いオーディオ装置で聴くと音がまったく違うんですよ。演奏者の息遣いまで聴こえてくるような臨場感が味わえます。

ゴルフも以前はよく行きました。一時期はハンディもずいぶん小さい値だったんですが、腰を痛めてからは、100点です……（笑）。平成10年に甲南高校にゴルフ部ができて、

息子が入部することになり、息子と一緒によくコースを回りました。今は健康のためにゴルフを楽しんでいます。

現在は様々な団体の役員として、ボランティア活動に忙しくしています。最近では、母校である甲南高校の同窓会会長の任をいただきました。同窓会に毎年300人から500人程度の同窓生が集まるため、緊張感を持って務めています。卒業式や入学式にも来賓として参列させていただきますが、後輩の高校生たちは本当にかわいいと感じますね。

安全とコミュニケーションを大事に

——会長はお若くして社長になられたそうですね。

29歳の時に父が急逝し、後を継ぎました。

当社はクレーン車とトラックのリース業を行っているほか、クレーン車を使った工事を請け負っています。設立当初の昭和36年頃、琵

株式会社昭和組

創 業 昭和27年 4月
設 立 昭和32年 7月
資 本 金 1,000万円
事業内容 クレーン事業、運送事業、環境事業、不動産事業
拠 点 本社（神戸市須磨区）、西神営業所（神戸市西区）

琵琶湖大橋の基礎工事の際に、神戸の寄神建設さんの台船を四分割して運搬し、クレーンを使って琵琶湖に並べました。これが昭和組の出発点となっています。

その後も明石海峡大橋、神戸ジャンクション、神戸須磨シーワールド、ジーライオンアリーナ神戸など数々の工事に携わってまいりました。大きな工事に昭和組を呼んでいただけたのはありがたいことです。また道路のようなインフラは暮らしに欠かせないものですから、地域貢献もできているかと思えます。

苦しい時期もありましたが、今は日本に4台しかないトレーラーも持つことができるようになりました。充実した機械で、従業員が誇りを持って作業できています。

能登半島の震災が起きた時は、1月2日にトラックを出しました。石油タンクに穴が空いてしまったため、神戸から作業員が修理をしに行くことになり、当社は機材の運搬を受け持ったのです。阪神淡路大震災の時も、復旧工事にクレーン車が使われています。この当時は私自身、歩道の上で3日間寝泊まりしながら働きました。

神戸は震災の打撃が大きく経済もスローダウンしてしまいましたが、やっと復興することができ、現在もあちこちで再開発の計画が進んでいます。当社も工事に関わる話をいただいております。神戸の発展とともにこれからが楽しみです。

——会長のモットーとされていることは何ですか。

社是でもある「継続は力なり」です。会社は大きくなっても小さくなくても、続けていくことが大事。歩みを止めたらおしまいです。なぜ同じことを何回もするのだろうと思うようなことも、続けることによってそれがベースとなり、さらに上へと登っていくことができます。我々の仕事でいえば、普段から安全を大事にし、従業員とのコミュニケーションを図ることを心掛けています。

おかげさまで当社の従業員は、落ち着いて安全にクレーンのオペレーター業務を行ってくれています。損保系の会社からオペレーター教育の方法を聞きに来られるほどです。現場の所長さんや監督さんからも「昭和さんはひと味違うな」と言われ、誇らしく思っています。

——では最後に、納税協会の会長としての課題と抱負をお聞かせください。

須磨納税協会の担当地域は住宅街が多く、企業の少ないエリアです。それでも小学校で行っている租税教室には十数人の会員が講師として出向き、授業を行ってくれています。この熱心な活動には評価をいただいています。

会員の皆さんにお話ししていることなのですが、企業経営には浮き沈みがつきものです。苦しい時も下を向いてしまうのではなく、納税協会の行事にも参加していただき情報交換していただければいいと思います。

今後も微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

——本日はありがとうございました。